

科目名	総合実技演習	担当教員	山田 恭平※ 久保 勝幸※ 三宅 環※ 佐々木 努※ 佐藤 拓也※ 松田 竜幸※ 泊り 由希子※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	2単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32ABCDE	①、②、③、④					

科目概要	作業療法の介入における評価過程は、介入の第一歩であり、治療・指導・援助の介入方法を思考するために欠くことのできないものである。そこで本科目では、身体、老年期、発達、精神における評価の過程・手段・目的について理解した上で、3年次前期までに学習した実技演習の内容について実践的な応用技能を習得することを目的とする。
学習目標	① 身体・老年期（高次脳機能障害も含む）・発達障害領域における実践を想定した検査法について理解する。 ② 精神障害領域における実践を想定した検査法について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ROM測定	基本的なROM測定の確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的なROM測定について理解し、実践的できる。	山田
2	ROM測定	基本的なROM測定の確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的なROM測定について理解し、実践的できる。	山田
3	MMT	基本的なMMTの確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的なMMTについて理解し、実践的できる。	山田
4	MMT	基本的なMMTの確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的なMMTについて理解し、実践的できる。	山田
5	各種検査	基本的な検査法を確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的な検査法について理解し、実践的できる。	山田
6	各種検査	基本的な検査法を確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的な検査法について理解し、実践的できる。	山田
7	動作分析	事例を通して、評価、治療における動作分析の考え方について実践する	基本から実践まで理解できる	山田
8	動作分析	事例を通して、評価、治療における動作分析の考え方について実践する	基本から実践まで理解できる	山田
9	動作分析	事例を通して、評価、治療における動作分析の考え方について実践する	基本から実践まで理解できる	山田
10	動作分析	事例を通して、評価、治療における動作分析の考え方について実践する	基本から実践まで理解できる	山田
11	高次脳機能検査	基本的な神経心理学的検査の内容を理解した上で、実施することを学ぶ。	マニュアルに沿って、基本的な神経心理学的検査を実施できる。	佐々木
12	高次脳機能検査	基本的な神経心理学的検査の内容を理解した上で、実施することを学ぶ。	マニュアルに沿って、基本的な神経心理学的検査を実施できる。	佐々木

13	高次脳機能検査	症例に適した神経心理学的検査を選択・実施し、生活障害との関連を学習する。	神経心理学的検査の結果から生活障害を推測できる。	佐々木
14	高次脳機能検査	症例に適した神経心理学的検査を選択・実施し、生活障害との関連を学習する。	神経心理学的検査の結果から生活障害を推測できる。	佐々木
15	発達障害	発達障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。	佐藤
16	発達障害	発達障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。	佐藤
17	発達障害	発達障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。 実践的な方法について理解する。	佐藤
18	発達障害	発達障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。 実践的な方法について理解する。	佐藤
19	精神障害	精神障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。	松田 泊り
20	精神障害	精神障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。	松田 泊り
21	精神障害	精神障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。	松田 泊り
22	精神障害	精神障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。 実践的な方法について理解する。	松田 泊り
23	精神障害	精神障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。 実践的な方法について理解する。	松田 泊り
24	精神障害	精神障害領域に関する評価法、検査法について総合的に学習する	基本的な評価、検査方法を習得する。 実践的な方法について理解する。	松田 泊り
25	移乗動作	基本的な移乗動作の介助法を確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的な方法について理解し、実践的 できる。	山田 佐藤
26	移乗動作	基本的な移乗動作の介助法を確認した上で、応用的な方法について学習する	基本から実践的な方法について理解し、実践的 できる。	山田 佐藤
27	総復習・まとめ	検査や移乗介助等について一連の流れで実践的な方法を学習する	一連の流れで評価ができる。	山田 他教員
28	総復習・まとめ	検査や移乗介助等について一連の流れで実践的な方法を学習する	一連の流れで評価ができる。	山田 他教員
29	総復習・まとめ	対象者を想定して、検査や移乗介助等について一連の流れで実践的な方法を学習する	対象者の特徴に合わせて一連の評価ができる。	山田 他教員
30	総復習・まとめ	対象者を想定して、検査や移乗介助等について一連の流れで実践的な方法を学習する	対象者の特徴に合わせて一連の評価ができる。	山田 他教員
評価方法		実技試験（100%）		
課題に対するフィードバック		演習を通してフィードバックを行う。 演習中、演習後に質問を受け、回答する。		
教科図書		限元庸夫・編『臨床 ROM 測定からエクササイズまで』ヒューマン・プレス、2017年 Helen J.Hislop、他・著、津山直一、他・訳『新・徒手筋力検査法第10版』協同医書出版社、2020年 長崎重信『作業療法ゴールドマスターテキスト4 身体障害作業療法学改訂第2版』MEDICAL VIEW、2015年		
参考図書		矢谷令子・監『標準作業療法学専門分野作業療法評価学第3版』医学書院、2017年		
学習の準備		1.（予習）講義に関連する3年次前期までに学習した実技内容について復習しておくこと（45分）		

<p>オフィスアワー</p>	<p>火曜日と木曜日の 16 時 10 分～17 時、その他在室時はいつでも可能</p>
<p>担当教員欄に※印を附した教員の実務経験</p>	<p>山田恭平は、民間病院で ROM（関節可動域）測定・MMT（徒手筋力検査）・反射検査・協調性検査・感覚検査・脳卒中片麻痺検査の臨床応用について及び基本動作介助について作業療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。</p> <p>佐藤拓也は、民間病院で基本動作介助について作業療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。</p> <p>松田竜幸・泊り由希子は、民間病院で面接・観察について、作業療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。</p> <p>佐々木努は、民間病院で高次脳検査について作業療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。</p> <p>三宅環・久保勝幸は、民間病院で作業療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。</p>